

教員公募要領



京都工芸繊維大学
Kyoto Institute of Technology

公募開始日	令和6年9月13日
求人件名	京都工芸繊維大学 教授・准教授・助教 の採用
機関名	京都工芸繊維大学
機関URL	https://www.kit.ac.jp
採用組織名	別紙のとおり
機関種別	国立大学
公募のURL	https://www.kit.ac.jp/uni_index/teacher-employment/
担当業務・担当科目等	別紙のとおり
勤務地（住所）	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎）
募集人員	別紙のとおり
採用予定日	令和7年4月1日
研究分野	別紙のとおり
職種	別紙のとおり
勤務形態	常勤
任期	別紙のとおり
勤務地（都道府県）	京都府
応募資格	次のいずれにも該当する者 ・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると認められる者 ・公募する専門分野に関して顕著な研究・教育業績を有し、熱心な研究・教育意欲を有する者 ※その他の応募資格は、別紙のとおり
待遇	本募集により採用された場合の給与は年俸制となります。詳細は、本学規則集(下記サイト)をご確認ください。 https://www.kit.ac.jp/01/prescriptions/aggregate/catalog/index.htm また、任期中に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないよう研究支援員を配置すると共に、助教として採用された場合は休業期間に応じ任期を延長することができます。 給与（年収） ・教授：900万円～ ・准教授：700万円～ ・助教：500万円～ ※経歴等により決定されます。 勤務時間等：専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分、週38時間45分） 試用期間：有り（6ヶ月） 受動喫煙防止のための取組：施設内禁煙（ただし指定場所に喫煙所設置）
応募締切日	令和6年10月23日（水）（17時必着）
応募書類	履歴書（上記「公募のURL」より「様式1」をダウンロード） 研究業績リスト（上記「公募のURL」より「様式2」をダウンロード。「著書」「学术论文(査読あり)」「参考論文(査読なし)」「口頭発表」「その他」に分類すること） 応募先の組織名が確認できる書類（上記「公募のURL」より「様式3」をダウンロード） 競争的資金獲得状況一覧（年度、研究テーマ、資金名称、代表者・分担者の別、金額などを記載すること。これまでに競争的資金の獲得実績が無い場合はその旨を記載） 主要な著書、論文5編（別刷り、コピー可）各1部

教員公募要領



京都工芸繊維大学
Kyoto Institute of Technology

	教育に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	研究に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスも含む）
	その他必要な応募書類は、別紙のとおり。
選考方法	書類審査を通過した候補者には面接を行います。また、選考の過程で追加書類の提出をお願いすることがあります。なお、これらの場合において旅費、郵送料等の費用は応募者の負担となります。
問い合わせ先	京都工芸繊維大学 人事労務課 問い合わせ先のメールアドレスについては、別紙のとおり。
応募書類提出先	上記の書類の電子データ（PDF形式）を京都工芸繊維大学人事労務課までEメールにて提出してください。提出先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 ※メールアドレスの件名は、「京都工芸繊維大学〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類の送付」としてください。 なお、電子データの容量の都合上、電子媒体に格納して郵送する場合は以下の住所まで送付してください。 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学 人事労務課 ※封筒に「〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類」と朱書きし、簡易書留または宅配便にて送付して下さい。
備考	応募書類は返却しません。また、応募書類および書類に記載された情報は本選考の用途以外には使用しません。
	本学は、多様な人材が活躍できるダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでおり、男女共同参画社会基本法および男女共同参画基本計画の趣旨を尊重し、男女雇用機会均等法第5条に則した人事を行っています。
	別紙に記載の担当業務以外に、入試等の大学運営、社会貢献等に関わる業務も担っていただきます。
	適任者がいない場合には、今回の採用を見送ることもあります。
	※その他の特記事項については、別紙のとおり。

別紙

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
1	応用生物学系	1名	<p>担当業務 応用生物学分野における研究・教育と学生の研究指導</p> <p>担当科目 応用生物学課程及び応用生物学専攻における講義、実験、及び演習など</p>	<p>大分類：ライフサイエンス 小分類：分子生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：応用分子細胞生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：発生生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：形態、構造</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：動物生命科学</p>	助教	任期あり（5年）・再任可	哺乳類の生命現象を研究対象として、卓越した研究業績を有し、本学における教育に熱意があること。 バイオメディカル学教育研究分野において、再生医療や疾病治療に向けての学際的なライフサイエンス研究やメタカルサイエンス研究を展開し、医工連携を推進できる人材であること。			jinji-saiyou05@jim.kit.ac.jp
2	応用生物学系	1名	<p>担当業務 応用生物学分野における研究・教育と学生の研究指導</p> <p>担当科目 応用生物学課程及び応用生物学専攻における講義、実験、及び演習など</p>	<p>大分類：ライフサイエンス 小分類：システムゲノム科学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：進化生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：ゲノム生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：遺伝学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：分子生物学</p>	教授	任期なし	生命科学におけるデータサイエンスやバイオインフォマティクスに関する卓越した研究業績を有し、本学における教育に熱意があること。 バイオデータサイエンス教育研究分野（新設）において、バイオインフォマティクスやデータサイエンスを基盤として、生命現象の多元的理解及び計測・解析技術に関する先駆的な研究・開発を推進できる人材であること。			jinji-saiyou06@jim.kit.ac.jp
3	応用生物学系	1名	<p>担当業務 応用生物学分野における研究・教育と学生の研究指導</p> <p>担当科目 応用生物学課程及び応用生物学専攻における講義、実験、及び演習など</p>	<p>大分類：ライフサイエンス 小分類：生理学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：動物生理化学、生理学、行動学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：神経科学一般</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：実験動物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：動物生命科学</p>	教授	任期なし	哺乳類の生命現象を研究対象として、卓越した研究業績を有し、本学における教育に熱意があること。 高次生命機能創製教育研究分野（新設）において、哺乳類を研究対象とし、個体がもつ複雑な生命現象や生体応答能力の理解と操作による次世代のバイオテクノロジー研究を推進できる人材であること。			jinji-saiyou07@jim.kit.ac.jp
4	応用生物学系	1名	<p>担当業務 ショウジョウバエ遺伝資源センターの運営 応用生物学分野における研究・教育と学生の研究指導</p> <p>担当科目 応用生物学課程及び応用生物学専攻における講義、実験、及び演習など</p>	<p>大分類：ライフサイエンス 小分類：遺伝学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：ゲノム生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：分子生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：発生生物学</p> <p>大分類：ライフサイエンス 小分類：実験動物学</p>	教授	任期なし	ショウジョウバエを研究対象として、卓越した研究業績を有し、本学における教育に熱意があること。 ショウジョウバエ遺伝資源センターにおいて、ショウジョウバエリソースを新規に作出、収集するとともに利活用し、基礎研究からトランスレクション研究を推進できる人材であること。 ショウジョウバエ遺伝資源センターを運営するために必要な業務遂行能力、学会および社会における活動能力を有していること。			jinji-saiyou08@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
5	材料化学系	1名	<p>【募集の背景】 京都工芸繊維大学材料化学系では、高分子・ソフトマテリアル分野における教授(または准教授)を1名募集することになりました。高分子・ソフトマテリアルの合成(新しい有機材料の創生)に関して、個人の発想に基づき、独創性と創造性に優れた独自の研究を推進していただける方を求めます。特に、従来の学術的枠組みにとらわれないこと、時代に即した新しい研究領域の開拓に強い意欲を有し、基礎と応用の両面から、科学技術の発展に貢献できる人材を求めています。また、本公募は、本学材料化学系の中核を担う人材を募集するものであり、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって、管理運営業務に積極的に貢献していただける方を求めます。着任後は、独立した研究室を立ち上げていただきます。</p> <p>【仕事内容・職務内容】 ・上述の材料に関する研究 ・大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・材料化学系及び大学における管理運営業務</p> <p>【配属部署】 教員組織:材料化学系 関連する教育組織: (学部)応用化学課程高分子材料デザインコース (大学院)材料創製化学専攻または材料制御化学専攻[博士前期課程]、及び、物質・材料化学専攻[博士後期課程]</p>	大分類: ナノテク・材料 小分類: 指定なし	教授または准教授	任期なし	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院の講義を英語で行える方 ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有する方 ・研究において独自の大きなビジョンを有し、高い研究遂行能力を有する方 			jinji-saiyou09@jim.kit.ac.jp
6	分子化学系	1名	<p>担当業務 有機化学、精密合成化学、有機機能材料化学を基盤とし、複合機能を有する機能性分子のような革新的な次世代有機機能材料を開発する独創的な研究を推進する。 上記専門分野における学生指導。</p> <p>担当科目 応用化学課程専門科目、特に「有機化学」ならびに「有機機能材料化学」に関連した学部、大学院科目</p>	大分類: ナノテク・材料 小分類: 有機機能材料	教授	任期なし	<p>京都工芸繊維大学物質合成化学専攻では、精緻な分子設計に基づく、次世代先端有機材料の創成ならびにその応用に関する研究教育を実施している。</p> <p>応募者は、本専攻において、有機合成化学を機軸とした最先端有機機能材料の開発、複合機能を有する独自性の高い分子構造や特異形状からなる化合物、また、新しい発想に基づいた機能性化合物の設計・合成と機能評価を中心として、有機化学・有機機能材料化学にわたり、熱心な研究・教育意欲を有すること。</p>	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou10@jim.kit.ac.jp
7	分子化学系	1名	<p>担当業務 生物化学工学(抗体科学、生体関連化学、生化学を含む)を学術基盤とし、社会の様々な課題解決を指向した先進的研究の実施ならびに国際展開。 上記専門分野における学生指導。</p> <p>担当科目 「化学工学」「生物化学工学」に関連した学部、大学院科目</p>	大分類: ものづくり技術 小分類: バイオ機能応用、バイオプロセス工学 大分類: ライフサイエンス 小分類: 機能生物化学	教授	任期なし	<p>京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 機能物質化学専攻では、生体分子を化学物質としてとらえ、機能性生体分子の創生および新規物質の機能解析を目的とした基礎的研究、ならびに生体材料の工学的活用を志向した教育・研究を実施している。</p> <p>応募者は、本専攻において、抗体科学に関する基礎・応用研究を通じて、社会全体のQuality of Life(QOL)の向上、持続可能な社会の構築、革新的ものづくり技術、次世代型バイオソールの開発に大きく貢献できる人材であること。</p>	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou11@jim.kit.ac.jp
8	電気電子工学系	1名	<p>担当業務 薄膜工学、電気電子材料工学および光物性物理学などの分野を網羅的に基盤とする機能性ナノマテリアルサイエンス分野における実験研究および学生の研究指導</p> <p>担当科目 電子システム工学および物理学に関連した学部および大学院科目および大学業務</p>	大分類: ナノテク・材料 小分類: 薄膜、表面界面物性 大分類: ナノテク・材料 小分類: 結晶工学 大分類: ものづくり技術 小分類: 電気電子材料工学 大分類: 自然科学一般 小分類: 半導体、光物性、原子物理	准教授	任期なし	<p>薄膜工学、結晶工学、電気電子材料工学および光物性物理学の研究分野において顕著な研究業績と豊富な教育経験を有しており、機能性ナノマテリアルサイエンスの基盤となる膜形成技術やデバイス作製技術、物性評価技術などについて幅広く豊富な経験を有していること。学内の関連研究分野の研究者と積極的な連携が図れること。一般物理教育および入試関連業務の経験を有し、かつ従事できること。</p>			jinji-saiyou12@jim.kit.ac.jp
9	電気電子工学系	1名	<p>担当業務 プラズマ科学を学術基盤とした持続可能なエネルギー、SDGs、データ駆動科学、プラズマ計測に関する実験研究および学生の研究指導</p> <p>担当科目 電子システム工学に関する科目と学生実験、一般物理学科目と学生実験、大学院科目、大学業務</p>	大分類: エネルギー 小分類: プラズマ科学 大分類: エネルギー 小分類: 核融合学 大分類: エネルギー 小分類: プラズマ応用科学	教授	任期なし	<p>プラズマ科学分野を主たる活動の場とし、核融合エネルギー、プラズマプロセス、プラズマ基礎の最先端融合課題、例えば、非平衡科学やデータ駆動科学によるSDGsの実現を牽引する等の優れた実績と能力を有し、当該分野の研究において革新的な技術の創出に取り組み国際的な活躍ができること。また、学内の研究者と積極的に共同研究を推進し産業界にも貢献できること。一般物理教育、国際連携、入試関連業務にも豊富な経験を有し、かつ従事できること。</p>	教育実績・学会活動・研究指導を通しての海外研究機関との共同研究実績リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou13@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
10	電気電子工学系	1名	担当業務 半導体デバイス、電気電子材料工学の分野における実験研究、学生の研究指導 担当科目 電子システム工学に関する学部および大学院科目、大学業務	大分類: ものづくり技術 小分類: 電気電子材料工学 大分類: ものづくり技術 小分類: 電子デバイス、電子機器 大分類: ナノテク・材料 小分類: 結晶工学	教授	任期なし	半導体デバイス、電気電子材料工学、酸化物エレクトロニクス等の分野において優れた研究実績と能力、豊富な教育経験を有し、当該分野の研究において革新的な技術の創出と国際的な活躍ができること。また、産業界に大きく貢献し、学内の関連分野の研究者との共同研究を積極的に推進できること。入試関連業務に豊富な経験を有し、従事できること。			jinji-saiyou14@jim.kit.ac.jp
11	電気電子工学系	1名	担当業務 集積回路もしくはパワーエレクトロニクス素子による電子回路を学術基盤とした、新たな集積回路、電子回路の設計、応用先の開拓に関する研究実施および学生の研究指導 担当科目 電子システム工学に関する学部および大学院科目、大学業務	大分類: ものづくり技術 小分類: 電力工学 大分類: ものづくり技術 小分類: 電子デバイス、電子機器 大分類: ものづくり技術 小分類: 設計工学 大分類: ものづくり技術 小分類: 制御、システム工学	助教	任期あり(5年)・再任可				jinji-saiyou15@jim.kit.ac.jp
12	機械工学系	1名	担当業務 機械工学を学術基盤としたロボティクス・スマートメカシステム分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目 機械工学、特にロボット工学に関連した学部、大学院科目	大分類: 情報通信 小分類: 機械工学、メカトロニクス 大分類: 情報通信 小分類: ロボティクス、知能機械システム 大分類: 情報通信 小分類: 知能ロボティクス 大分類: ものづくり技術 小分類: 制御、システム工学	教授または准教授	任期なし	「人とロボットが共生する世界」の創出に向けて、たとえば、人間との協働・人間中心ロボティクス、モビリティ・柔軟性・適応性、生体親和性・医療ロボティクス、生物模倣・AIとの統合による自律化、新原理アクチュエータ技術など卓越した技術を中核として、様々な領域の技術融合によりロボティクスにおける新しい潮流・パラダイムを開拓できる研究力と情熱を持ち、国際的な研究者ネットワークとの接続により、グローバルな環境で研究を先導的に展開できること。	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou16@jim.kit.ac.jp
13	機械工学系	1名	担当業務 機械工学を学術基盤とした材料力学分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目 機械工学、特に材料力学・機械材料に関連した学部、大学院科目	大分類: ナノテク・材料 小分類: 構造材料、機能材料 大分類: ナノテク・材料 小分類: 材料加工、組織制御 大分類: ものづくり技術 小分類: 材料力学、機械材料	准教授	任期なし	各種工業製品をグローバル市場で優位に立たせることを可能とする優れた表面処理・表面制御技術に係る研究を展開できること。さらに、各種工業製品や輸送機器等の安全性の飛躍的な向上をもたらす金属材料の信頼性を保証する強度研究を推進できること。	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou17@jim.kit.ac.jp
14	機械工学系	1名	担当業務 機械工学を学術基盤としたAI・計算科学を活用する複合領域分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目 機械工学、特にAI・計算科学に関連した学部、大学院科目	大分類: 情報通信 小分類: 計算科学 大分類: 情報通信 小分類: 高性能計算 大分類: ものづくり技術 小分類: 材料力学、機械材料 大分類: ナノテク・材料 小分類: 金属生産、資源生産	准教授	任期なし	AIを積極的に活用した高度なマルチフィジックスシミュレーションを深化させることで、材料科学とそれに関連する製造業の進化を促進し、環境と社会に対する持続可能な未来を創出する鍵となる研究を推進できること。特に高性能計算に精通し、特定の用途に最適化された材料の設計を可能とする加工プロセスを精密にシミュレーションできるような計算材料科学を展開できること。	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou18@jim.kit.ac.jp
15	情報工学・人間科学系	1名	下記研究分野に関する研究のほか、工芸科学部・工芸科学研究科設計工学域における実験・演習科目、情報工学(特に右記の研究分野に関する専門科目)に関する講義科目の担当、研究指導、および大学運営業務 ヒューマンインタフェース・インタラクション、認知科学あるいは実験心理学に関する分野。例えば、高度な自動化技術等が社会に普及した際の社会への影響、特に人の安全・安心の観点から研究。高齢化社会において、高齢者、介護者、さらには第三者の安全・安心などについて、あるいは高齢化社会にDXが与える効果・影響などについて、これらをおおむね社会の観点から定性的および定量的に分析・評価し、豊かな社会の実現を目指す研究。	大分類: 情報通信 小分類: ヒューマンインタフェース、インタラクション 大分類: 人文・社会 小分類: 認知科学 大分類: 人文・社会 小分類: 実験心理学	教授(女性)	任期なし	日本語および英語による実験・演習科目の担当、講義、研究指導が可能であること。			jinji-saiyou19@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
16	情報工学・人間科学系	1名	下記研究分野に関する研究のほか、工芸科学部・工芸科学研究科設計工学域における実験・演習科目、情報工学(特に右記の研究分野に関する専門科目)に関する講義科目の担当、研究指導、および大学運営業務。 Society 5.0の実現に向けた、感性・精神生理・認知情報といった人間の内面に関する研究。例えば、感情あるいは表情を数値化・モデル化し、顔表情や音声、身体動作から感情状態を推定する技術に関する研究。感情および伝統技能などの暗黙知に対しては、数値化や言語化といった従来の分析手法に加えて、機械学習の技術を導入した感情や暗黙知の分類・表現・伝達に関する研究。	大分類: 情報通信 小分類: 感性情報学 大分類: 情報通信 小分類: 知覚情報処理 大分類: 情報通信 小分類: 知能情報学	教授	任期なし	日本語および英語による実験・演習科目の担当、講義、研究指導が可能であること。			jinji-saiyou20@jim.kit.ac.jp
17	繊維学系	1名	右記の研究分野における研究、授業および研究指導等を担当していただきます。	大分類: ナノテク・材料 小分類: ナノ構造化学 大分類: ナノテク・材料 小分類: グリーンサステイナブルケミストリー、環境化学 大分類: ものづくり技術 小分類: 加工作業、生産工学	教授	任期なし	・高次機能を有する繊維・高分子材料の創製、特に天然繊維や天然高分子材料含む研究領域において、新たな価値を創出できる人材。 ・テーマとしては、繊維・高分子材料の成形および繊維化におけるナノ構造制御、長寿命化、劣化評価、さらに京都の伝統技術・材料との融合と進化に関わる技術を対象とする。 ・分野としては、高分子材料のみならず、ナノ構造化学やリサイクル・環境化学など多様な範囲を対象とし、さらに自身の技術や発想を基軸として垂直だけでなく水平展開もできる可能性を有していること。			jinji-saiyou21@jim.kit.ac.jp
18	デザイン・建築学系	1名	担当業務 デザイン学に関する教育研究および研究分野に関する学生の指導 担当科目 学部デザイン・建築学課程の以下の授業担当:「デザイン・建築基礎実習」、「プロジェクトデザインⅠ～Ⅳ」、「デザイン方法論」「卒業研究」等 大学院前期課程デザイン学専攻の以下の授業担当:「インタラクションデザインⅠ・Ⅱ」「デザインプロジェクトA」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 大学院後期課程デザイン学専攻の以下の授業担当:「プロジェクトデザイン論」「研究指導」等	大分類: 人文・社会 小分類: デザイン学 大分類: 情報通信 小分類: 感性情報学	教授	任期なし	・企業等でデザインに関わる勤務経験を有することが望ましい。 ・海外での実践および研究経験があることが望ましい。 ・フィールドリサーチ等を具体的デザイン成果に結びつける方法論研究に実績があることが望ましい。 ・デジタル技術分野(IoT、AI等)でのデザイン研究および製品開発の実績があることが望ましい。	ポートフォリオ(作品集・研究事例集)		jinji-saiyou22@jim.kit.ac.jp
19	デザイン・建築学系	1名	担当業務 建築設計学・都市デザインに関する教育研究、建築設計実習および上記専門分野に関する学生の指導 担当科目 「建築デザイン」「建築設計実習」「都市デザイン」に関する学部及び大学院科目	大分類: 社会基盤 小分類: 建築計画、都市計画 大分類: 社会基盤 小分類: 建築史、意匠	教授	任期なし	・博士の学位を有するか、国内外の顕著な建築賞を受賞していること。 ・一級建築士の資格を有し、設計実務実績において国内外の権威あるデザイン雑誌又は建築雑誌に作品が掲載されていること。 ・都市、地域の居住空間に関する国内外でのフィールドワークを通じた研究や設計提案などにおいて、優れた実績を有することが望ましい。 ・設計教育活動に関する受賞歴等の実績を有することが望ましい。		実務家教員としてクロスアポイントメント制度を適用した勤務形態が望まれる	jinji-saiyou23@jim.kit.ac.jp
20	デザイン・建築学系	1名	担当業務 建築史学、建築アーカイブズに関する教育研究、建築設計実習および上記専門分野に関する学生の指導 担当科目 「建築史」「博物館学」「博物館実習」「建築設計実習」に関する学部及び大学院科目 美術工芸資料館における建築アーカイブズの教育研究と運営	大分類: 社会基盤 小分類: 建築史、意匠 大分類: 人文・社会 小分類: 博物館学	准教授	任期なし	・建築アーカイブズに関わる研究実績及び専門的業務実績を有していること。 ・近現代建築史に関わる研究実績を十分に有していること。 ・博物館等における勤務経験を有すること。 ・海外における教育研究の経験があり、海外連携の拡大に貢献しうるネットワークを形成していること。			jinji-saiyou24@jim.kit.ac.jp
21	基盤科学系	1名	担当業務等 法学分野における専門研究 入試業務他学内および学系内業務全般 担当科目等 学部 法学、憲法 大学院 高等教養講義、高等教養セミナー、現代思想論	大分類: 人文・社会 小分類: 基礎法学 大分類: 人文・社会 小分類: 公法学 大分類: 人文・社会 小分類: 新領域法学	助教	任期あり(5年)・再任可				jinji-saiyou25@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
22	基盤科学系	1名	<p>担当業務 外国語に関する教育研究、入試業務全般、学部共通科目の運営管理</p> <p>担当科目 (工芸科学部)フランス語初級、フランス語中級、フランス語(文化・文学・思想)、三大学教養教育共同化科目 (大学院工芸科学研究科)高等教養講義、高等教養セミナー等</p>	<p>大分類: 人文社会 小分類: 美学、芸術論</p> <p>大分類: 人文社会 小分類: ヨーロッパ文学</p> <p>大分類: 人文社会 小分類: 言語学</p> <p>大分類: 人文社会 小分類: 外国語教育</p>	教授	任期なし				jinji-saiyou26@jim.kit.ac.jp
23	未来デザイン・工学機構	1名	<p>担当業務 ・本学未来デザイン・工学機構が掲げる学際融合的活動の基盤となるデジタルデザインの教育、研究、研究支援活動に関する業務 ・本学KYOTO Design Labにおける多様なデジタル工作機械の維持管理、運用、技術指導に関する業務</p> <p>担当科目 ・工芸科学研究科におけるコンピューショナル・ファブリケーション関連の演習科目</p>	<p>大分類: 人文・社会 小分類: デザイン学</p> <p>大分類: 情報通信 小分類: ヒューマンインタフェース、インタラクション</p> <p>大分類: ものづくり技術 小分類: 加工学、生産工学</p> <p>大分類: ものづくり技術 小分類: 設計工学</p> <p>大分類: 社会基盤 小分類: 建築構造、材料</p>	助教	任期あり(5年)・再任可	<p>1) 本学KYOTO Design Lab のデジタルファクトリーに設置されている機材と、機材運用のためのソフトウェア https://www.d-lab.kit.ac.jp/facilities-list/ と同一、あるいは同等の機材やソフトウェアを、日常的に使用した経験を有すること。</p> <p>2) デジタル・ファブリケーションにおける多様な機材、ソフトウェア、データフォーマットなどの相関性の理解促進のための初學者に向けたセミナー、ワークショップ、講義などを過去に複数回実施した実績を有すること。</p> <p>3) 博士号を有さない応募者については、着任後5年以内に博士号取得の見込みや展望があることを示すこと。</p>		追加で必要とすべき応募資格1)、2)のエビデンスとなる活動実績について、具体的な活動内容や成果、使用した機材、ソフトウェアについて応募書類において明記すること。	jinji-saiyou27@jim.kit.ac.jp